平成30年度　鎌ケ谷市事務事業評価表（事後）（標準評価表）

事務事業名	農業委員会事務局の運営に要する経費	会計	款	項	目	多額経費
		一般	6	1	1	
政策	33活力ある産業を育成します	担当課室	農業委員会事務局			
施策	331都市農業の育成	担当課室長	佐山　佳明			

Ⅰ　改革・改善内容（＝事務事業をより良く実施するための方策）

①前回の評価で掲げた内容	7月に農業委員・推進委員が新体制となることから、委員会業務についての認識を共有し、業務を円滑に実施する。	③平成30年度に取組む改革・改善内容	農地の最適化に向けた取り組みを推進するとともに、委員会業務について委員との認識を共有し、業務の円滑化を図る。
②①に基づく取組み結果	平成29年度までの目標を定めた活動結果・検証評価の実施		

Ⅱ　事務事業の目的・概要

①目的	対象	農地法等に基づく業務を円滑に運営するための活動	意図（対象をどうするのか）	農業委員会事務の点検及び検証の実施
②事務事業の概要	農地法、農業経営基盤強化促進法、農業委員会法に基づく農業委員会業務を円滑に運営する。			
③環境分析（事業開始からの状況変化や今後の見込み・市民意向など）	都市化に伴う農地の宅地化等により営農環境が悪化し、農業経営が厳しい状況の中、農業従事者の高齢化及び担い手不足により農地の遊休化が懸念されている。			

Ⅲ　事務事業の成果やコストの状況

①平成29年度の事業の成果	食糧自給率の向上のための優良農地の確保と有効利用及び担い手の育成確保と農用地利用集積の斡旋を行い、一団化した農地への誘導に努めた。

②成果を表す指標		指標名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	算定根拠
	i	農業委員活動日数	561	638	333	日	活動記録簿
	ii						
	iii						

③事務事業のコスト		平成28年度決算	平成29年度決算	平成29年度決算（事業費）の主な内訳		平成30年度予算
事業費（千円）		10,392	10,617	金額（千円）	内容	10,777
	国支出金（千円）			7,180	農業委員会委員報酬	
	県支出金（千円）	1,371	1,219	1,970	農地利用最適化推進委員報酬	1,236
	市債その他（千円）	136	204			113
	一般財源（千円）	8,885	9,194			9,428

Ⅳ　評価・検討

①課題	農業委員及び推進委員の業務内容について、両委員と共通の認識を持ち、取り組んでいく必要がある。					
②評価	ⅰ市関与の妥当性	3高い	ⅲ公平性	3高い	ⅴ総合評価	6精査・検証
	ⅱ有効性	3高い	ⅳ効率性	3高い		
③上記評価の理由	より効果的な農業委員会業務の運営の実現に向け、引き続き改善等の検討を行うため。					

Ⅴ　多額の経費を要する事業等の「実施計画」における達成状況

		平成29年度事業費の状況（単位；千円）					
①平成29年度の計画		計画事業費	予算額		決算額		
②計画に対する事業実績			0	当初	0	H28からの繰越	
				H28⇒29繰越			
③達成状況				補正		現年分	
④未完了・非着手の理由				流用・充当			
		平成30年度への繰越額（単位；千円）					